



# 木島平村橋梁長寿命化修繕計画の概要

木島平村が管理する橋梁について、橋梁長寿命化計画を策定しました



## 計画策定の目的

現在、木島平村が管理する橋梁は、29橋あります。築年数30年以上の橋が65%に達しています。20年後にはこれらの橋梁は築後50年を超えます。

積雪も多く、寒暖の差が激しい当地域では、橋梁各部位の損傷が目立つようになりました。今後、長期にわたって、安全に使用し続けるためには、定期的な観察及び調査、並びに計画的な維持管理が必要です。

これらの課題を解消するために、壊れたら直す『事後保全型』管理から、損傷が大きくなり補修費用が増す前に計画的に補修する『予防保全型』管理へ転換することを目的として、計画を策定しました。

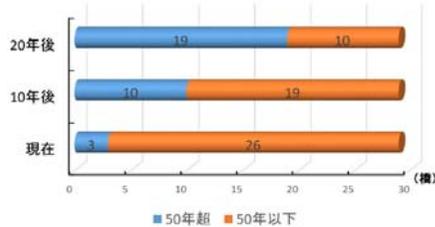


図 架設後50年を超える橋梁数の推移

### 経過年数(築年～平成30年)

・10年以下	1 橋	( 3 % )
・10年超～20年以下	5 橋	( 17 % )
・20年超～30年以下	4 橋	( 14 % )
・30年超～40年以下	9 橋	( 31 % )
・40年超～50年以下	7 橋	( 24 % )
・50年超～	3 橋	( 10 % )

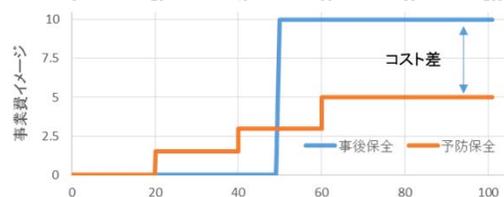
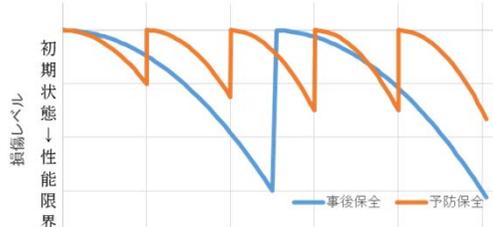


図 予防保全型管理によるコスト縮減の概念図

## 中期修繕計画の内容

H26～H29における橋梁点検において、損傷の進行がみられ、予防保全の観点からも早急に補修を行うことが必要と判断された橋梁は下記の4橋です。

橋梁名	2019年 平成31年	2020年 平成32年	2021年 平成33年	2022年 平成34年	2023年 平成35年	2024年 平成36年
千石橋	委託	施工				
上千石橋	委託	施工				
越渡橋			委託	施工		
寒種橋					委託	施工

- ・定期点検調査で、判定区分がⅢorⅣの部位について補修を行う。
- ・寒種橋は、洗堀により護岸が不安定なので、現在供用停止中である。
- ・越渡橋は、桁のひび割れの原因も検討しつつ、補修を行う。

## 維持管理の重要性

1. 定期点検: 橋梁の各部位の定期点検調査は、5年毎に行います。
2. 日常点検: 予防保全には日常的な管理も重要です。

＜日常管理における留意点＞

- 1) 橋面からの管理
  - ・舗装のひび割れ、クラックの発生状況の確認
  - ・橋面上の泥や雑草の除去
  - ・排水柵の目詰まり解消
  - ・高欄の破損は、緊急補修
  - ・地覆コンクリートのひび割れ、断面欠損の確認
- 2) 下面からの管理(可能な場合)
  - ・コンクリート部のひび割れ、断面欠損、鉄筋露出の確認
  - ・鋼材の腐食状況や塗装の劣化状況の確認

## 長寿命化計画によるコスト縮減効果

今回の計画対象橋梁を、供用開始から100年間維持すると想定して試算

長寿命化修繕計画  
(予防保全型管理)

5.1億円

従来型修繕方法  
(事後保全型管理)

11.3億円

縮減効果  
6.2億円

ご意見をお聞きした学識経験者  
信州大学特任教授 清水 茂 先生

計画策定担当部署  
木島平村建設課